

# 令和元年度 消防長「政策宣言」中間報告

消防長 五十嵐 晃

## ○ 令和元年度重要事業

事業名	防火対策の推進
目標	昨年、事業所からの火災が多発したことから予防査察や立ち入り検査を強化するとともに消防訓練を行うことで火災予防に努めます。 また、住宅用火災警報器の設置義務化から10年を経過していることから電池切れに関する啓発を継続的に行い、消防関係団体と連携して未設置世帯への設置促進に努めます。
進捗状況	住宅用火災警報器の設置率は、6月現在84.9%であり、昨年同期に比べ3.9%上昇しました。
今後の対応	引き続き広報誌への掲載や、関係機関の協力をお願いし、火災予防に努めるとともに、住宅用火災警報器の設置促進に加えて正しい設置指導を行います。

事業名	救急救命体制の充実
目標	救急業務の更なる充実のため、高度救命処置用資機材の計画的な整備を行い、救急医療体制の充実を図ります。 加えて、救急救命士再教育計画に基づき、隊員の教育訓練の充実を図るとともに、消防本部全体でのシミュレーション演習を行い、技術及び知識の向上に努めます。 また、ドクターヘリランデブーポイントの消防本部グラウンドを舗装化して迅速な引き渡しを行うなど搬送医療機関との一層の連携による救急搬送体制の強化を図り、円滑な受け入れ態勢の構築に努めます。
進捗状況	救急救命士を1名新規採用するとともに現職員1名の養成を行っています。 また、若年の救急救命士を中心にプロトコールの講習を行い、基礎実技を重点に置いたシミュレーション実習を行っています。
今後の対応	定期的な訓練や感染防止マニュアル等の整備を行い、消防職員全体に安全・確実な救急救命活動を行うよう意識付けを行います。

事業名	災害対応力の強化
目標	消防団、自主防災組織と連携しながら大規模災害発生時に迅速かつ的確な対応が取れるよう消防体制の充実強化に向け、実践的な訓練や研修を行い、職員の育成にも取り組みます。 また、消防団員の確保については、入団促進用ポスターを作成し、若年層の加入を促進するとともに消防団活動の環境向上にも努めます。

<b>進捗状況</b>	分団屯所の新築工事实施設計を行い、分団屯所大規模改修工事と常備、非常備の消防ポンプ自動車の更新を行っています。
<b>今後の対応</b>	消防団、自主防災組織と消防隊員相互の連携強化を重点に訓練を行い、消防体制の充実強化に努めます。